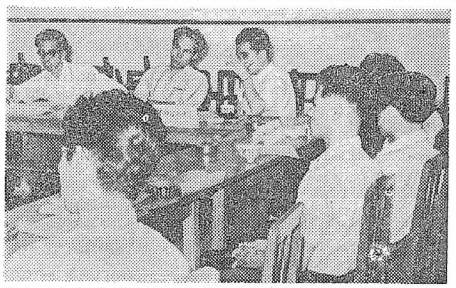
友愛
発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽7の10
TEL（94）2801
編集・発行人　水谷善
定価　1部　10円

青年学生団体懇話会（仮称）設置

出席者全員が一致

第二回平和懇談会

第二回平和とん談会に九月十八日水道橋郵政会館で開催されたが、日本民社青同他十二出席団体会員の一致した意見として、平和問題のみに限らず青年学生団体に共通した問題をも後も永続的に話合う機関として青年学生団体とん話会（仮称）を設置することになり平和とん談会は発展的に解消することになった。



正式発足22日に

青年学生団体とん話会（仮称）は第二回平和とん談会の席上別項掲載の如き経過をたどって設置されることに出席全員の意見が一致したが、その正式発足は来る二十二日午後六時より赤坂の水岸記念体育館で開催される合会に第二回平とん出席団体がそれぞれの執行機関の正式了承を持ちよった上で行われることになっている。

共通の広場を

第二回平和とん談会は平和問題を離れても青年学生団体が話し合う共通の場をもとめる意見が出席のうち満がいうこもなくいいだされ、結局全員の一致した考えとして青年学生団体とん話会（仮称）を設置しよう、ということになった。

第二回平和とん談会の席上別項掲載の如き経過をたどって設置されたものである。

即ち友愛青年同志会提唱の八月一日世界平和の日制定について欧州に於ける種々の事情一西独、仏、英等の平和問題に対する考え方の調査困難、八月一日そのものについても反対意見一によって実現不可能であるので明年度により効果的な方法で行う旨力レルギー的より通告されたと報告されたため世界平和の日制定については討議を打切ることになった。

これに引続き同日の第二議題平和問題につき今後も永続的に含みて討論するが否かについて出席団体よりそれぞれ意見の開陳が行われた。その結果は平和問題に限定されずに広く一般の青年学生団体に共通した問題についてとん談する機会を持ちたい、との意見が出席会員の考えとして一致をみたので、この青年懇（仮称）の設置をみるにいたったのである。

引続きこの青年懇の性格運営方法等につき協議された結果、各団体が相互に理解し協力し合い問題を自由に討論する共通の広場という基本線の申し合せを行った。

洞爺丸犠牲者を悼む

さる九月二十六日の北海道函館湾における青函連絡船洞爺丸及び十勝丸その他の第十五号台風による犠牲者に対して常任幹事会はさる九月二十八日次の如き談話をもって哀悼の意を表明した。

友愛青年同志会は台風十五号により函館湾沖において、不幸にもその犠牲となられた多くの方々に対してから哀悼の意を捧げます。われわれはこのような惨事を二度と繰返さないことを願い冥福を祈ります。」

招請団体名

青年学生団体懇話会（仮称）では十月二十二日の初会合に次の各団体あて招請状を発した。

日青協、日本YMCA同盟、日本YWCA同盟、東京YMCA、東京YWCA、日本ユースホステル協会、ボーイスカウト、ガールスカウト、日本民社青同、日本青年赤十字、日本K協会、日本海洋少年団、児童演劇協議会、雑誌、著同盟、友愛青年同志会、私学連、私学協、日本エネスコ学連、日本国連学連、日嘉学生協議会、日本学生奉仕団、YMCA学生委、東京カトリック学連、学生工聯会、国際学生協会、日本学生交化連盟学生団体交流委、学習院ユネスコ（以上二十八団体）

出席団体及氏名

九月十八日の第二回平和とん談会出席団体及び出席者氏名次の通り。

▽日青協、福本春男事務局長、塚河江義治秋谷社理事（金中退席）、▽日本民社青同、荒瀬修一郎会計監査（高田調査部長代理）、原千万年▽日本ユースホステル協会、福井正吾事務局長▽私学連、原田靖敏関東事務局長▽日嘉事務局長▽日本学生奉仕団、松原厳事務局長▽ユネスコ学連、鈴木正吾事務局長▽日本政治経済研究所、勝村一男研究員▽友愛青年同志会常任幹事会員。

文省部はトクをした？

青年大会のいきさつ

一番文部省からの天下り的団体である。しかし日青協が第二回大会不参加を決定したのは事実上の青年大会開催が不可能であるため、九月二十四日に至って文部省は日青協主催ということで結果的には日青協の主催を認め、また十四日体が実質的に協力を拒否したため主催を陽関係団体として公表した。

◇しかし、これはオカシナ話である。事情を知らぬ老人方そこの文部省が全国の青年団体を糾合して青年大会を開催し日青協はその事務を主管した、と呑み込みうるだろう。また全国人は日本の文部省は青年団体と共催で青年大会を開催するほど民主的だと早合点するかもしれない。いずれにしろ上の矛盾したのは文部省らしい。

◇外国の一方の側には、日本の青年が政府の号令で動員できると思わせ、他方の側には日本文部省の威力を誇示したかったのかもしれない。呵々（会）。

◇昨四日からバ日まで東京日比谷の第三回全国大会が行われている。

◇この大会には本会々員も地域青年団体の一員として多数参加しているわけであるが、今年の大会開催にあたって、この大会の実質的運営者であり、わが国地域青年団体の中核としてその約十二三万の青年を収めている日青協が春起こ、中島康子▽日本学生奉仕団、今村文部省副事務局長▽学生正部会、鈴石一帝事務局長▽日本政治経済研究所、勝村一男研究員▽友愛青年同志会常任幹事会員。

◇もともとこの大会は毎年一回、日青協が中心となり全国の勤へ青年の祭典として体育競技、音楽、演劇、弁論、討論会などを行ってきたものであるから、文部省は一方的に共催を申入れたYMCA・YWCA、ボーイスカウト、都道府県教育委等の十四団体とその性格の上からも共催できる筈のものではない。

◇これは青協が青年学級振法教育二法案等に対して組織的反対運動を続ける地域団体に指示したことに対する明らかなイヤガラセで関西においても、立命大、同志社大、近大等が中心となって関西協議会を開催することになっている。なお、この関東協議会と呼応している。

繰上げ開催に決定

幹事会　地方幹事の要請で

私学総決起大会の対外的活動方針を❶私学振興補助金の増額❷私大における税額の三項目とし、これとともに第二回幹事会については一応十一月二十一日開催予定で準備が進められていたが、地方在住幹事多数の要請もあり、九月末の常任幹事会で協議の結果、右要請をいれて来る十月二十四日に繰上げ開催することになった。会場には参議院議員会館を使用することにしゴ

平和運動の推進には原水爆問題を大きくとり上げ講演会、映画会等の開催を決定している。

なお、この関東協議会と呼応している。

▽日本学生奉仕団（WUS）で明一九五五年に日本において開催予定のWUS国際セミナー準備のため先きに同団藤田総主事を英国オックスフォード大学で開催のWUS総会出席させて、五五年度セミナーの予備連絡のため派遣したが、日本大学教本育雄教授ら二十数名による準備委員会を設け近くその設置、運営する地方状況判断に資することになっている。

地方通信部設置

機関紙の充実計る

第二回幹事会の正式議題として採りあげている、本紙の通信部設置は、全国組織の本会にとっては、重要な役割をはたすものであり、これの設置を要望する地域として定期的報告をよせ活躍している。

◇外国の一方の側には、日本の青年が政府の号令で動員できると思わせ、他方の側には日本文部省の威力を誇示したかったのかもしれない。呵々（会）。

◇今夏山中湖のボートで愛児を水に流されたお親がたのその時の模様を聞かせられた。同席していたその子の友人の話によるとボートの所有者である某旅館側に手落ちがあり、遭難後の処置に適切を欠いたようである。新聞報道も簡単に片付けてあったようだが、一歩一歩つこんだ報道があったらと思うのは単に親たけではないだろう。▼久保山さんの死に切論人災、洞爺丸も人災だという。この山中湖遭難事件も人災のようだ。どうしたら災については一般報道陣がおちいる角度から取材記事報道されることを特に新聞関係にあたって強願いする。▼そして同じ人間の一人としてわれわれの不注意によるこれらの事故に対し深く反省し、同時に心ならず悼の意を表する次第である。

久保山さんの霊に捧ぐ

久保山さん、あなたはなぜ、残念であったでしょう。三月一日のあの、のろわしい事件いらい、半年がたなしく過ぎ去ってしまいました。

あの、のろわしい事件は、トゲのような恐ろしさで私たち日本人の毎日の暮しの中にささってきてくれない。あなたは何故死んだのです。

久保山さん、久保山さん、もうあなたは帰ってこないのです。

久保山さん、しかし私たちは泣けてつけません。

「原・水爆実験はやめてください」と私たちの叫びに、あなたもきっと喜んでくださるでしょう。

もうあなたの怒りは私たちの怒り、あなたの悲しい運命は私たちの悲しい運命なのに

私たちは怒りです、のろわしい三月一日の事件から結局は何一つ出来なかった私たちが。

久保山さん、どうか私たちを許してください。

西ドイツで大会

汎ヨーロッパ連盟

友愛運動の提唱者カレルギー伯が欧州において一九二三年以来主宰している汎ヨーロッパ連盟では、来る十月三十日から十一月一日までの三日間西ドイツのバーデン＝バーデン市で第六回大会及び三十周年記念祭を開催する旨同連盟事務局から本会事務局に連絡があった。

【解説】バーデン＝バーデン市は西ドイツ南部の都市で、バーデン州の首都として有名、仏国境アルサス・ローレン地方に隣接している。マンデス・フランス内閣の下で仏国民議会が欧州軍条約（EOC）案を実質的に否決し、その結果シューマンプラン等で最後は一時可能かと思われた欧州の統一、すなわち『欧州連邦』が現実の面で夢と化したと思われる今日この汎ヨーロッパ連盟の大会が九月国条約による再軍備が発足確定とみられている西ドイツで行われるとともに意義がある。

汎ヨーロッパ連盟の本部はパリに移り従来仏国フランスを中心としてこの運動が行われていたにもかかわらず大会開催地が西独ヨーロッパ運動と世界平和にさらに貢献することを希望してやみません。

カレルギー伯にメッセージ

会長から

友愛青年同志会会長　鳩山一郎

総決起大会

私学連で

近く発足する青年学生団体とん話会（仮称）の有力構成メンバーの一つである私学連（全国私学学生自治会連盟）では、全国私学団体によりともに悩みを解決せん！のスローガンのもとに『全国私学振興総決起大会』を来る十一月十一・十二の両日東京において開催が予定されているが、これより先九月十八日日本大学に関東の私学十二校（日大、中大、早大、立大等）が参加して、関東協議会が開かれ同大会の対外的活動方針並びに当日の行事予定などを決めた、即ち

◇日青協、福本春男事務局長、塚河江義治秋谷社理事（金中退席）、▽日本民社青同、荒瀬修一郎会計監査（高田調査部長代理）、原千

▽日本ユースホステル協会、福井正吾事務局長▽私学連、原田靖敏関東事務局長▽ユネスコ学連、鈴木正吾事務局長▽日嘉学生協議会、松原厳事務局長▽日本学生奉仕団、今村文部省副事務局長▽学生正部会、鈴石一帝事務局長▽日本政治経済研究所、勝村一男研究員▽友愛青年同志会常任幹事会員。

学生サナ募金映画会

日本学生奉仕団で

日本学生奉仕団（WUS）では来る十月二十一日午後五時より東京

神田共立講堂において日本YMCA同盟、全国私学学生自治会連盟及び友愛青年同志会後援のもとに学生サナトリウム建設募金映画の夕を開催する。映画は東映映画提供『天井桟敷の人々』他で入場料五十円（会員川崎市稲田登戸に建設された学生サナトリウムの設備資金にあてられる。

WUSは本部をスイスのジュネーブに置き人種宗教の区別なくまた国境を越えて大学共通の理想を実現するための国際的機構で国際的相互理解と知的交流及び物質的援助を行っている。

LIC運動

民社青同で提唱

近く正式発足予定の青年学生団体とん話会（仮称）の有力な構成メンバーの一つである日本民主社会主義青年同盟（会長原作良方氏）では、さる九月十八日の第二回常任幹事会で生活明朗化運動としてL（自立）C（建設）I（自治）C（建設）運動を展開することを決定、この L・I・C運動を広く一般の労組地域、学生等の青年団体にも呼びかけることになった。

これら現在の日本の政治にも社会にも要と目立と建設の精神が欠け国民の日常生活から生活明朗性が失われつつある。こうした時にあるこれら青年が自覚しあい手を結び合って、生活明朗化運動の先頭に立って行動すべきである、という趣旨のもとに行われるもので、とくにL・I・Cの基本線で他団体との共通点を見出し、極力広汎な青年層に呼びかけるということである。

『友愛』の研究会

常設など決定

津地域で

【津】津地域では常に本部の活動方針にもとづき常に積極的な動きをみせているが、九月中の集会

準備委設置

WUSセミ日本開催で

日本学生奉仕団（WUS）では来る九月二十一日午後五時より東京

直言

▼洞爺丸の悲報は恐らく全国の人々の心をゆさぶったことだろう。子を持つ親、親を思う子、夫を思い妻を思う人々、そして親に被災者は出さなかった人々でさえもわが身につまされるものがあったと思ったことだろう▼四面海とかこまれた日本は船と海とそして水による被害が多いのは当然だ、といってしまうばそれまでだろう。それにしても、これらの犠牲者に報ぜられるのは、『あのマツリ』的事実である。まことに残念なことだ▼死児のヨワイを数えることになるわけだが、こうした災難の報道を読んだり聞いたりした時に、シロウトでも分るような「すした設備的な事故」が事者に欠けていたのではないか、と第三者として判断することが度々ある▼今夏山中湖のボートで愛児を水に流されたお親がたのその時の模様を聞かせられた。同席していたその子の友人の話によるとボートの所有者である某旅館側に手落ちがあり、遭難後の処置に適切を欠いたようである。新聞報道も簡単に片付けてあったようだが、一歩一歩つこんだ報道があったらと思うのは単に親たけではないだろう▼久保山さんの死に切論人災、洞爺丸も人災だという。この山中湖遭難事件も人災のようだ。どうしたら災については一般報道陣がおちいる角度から取材記事報道されることを特に新聞関係にあたって強願いする。▼そして同じ人間の一人としてわれわれの不注意によるこれらの事故に対し深く反省し、同時に心ならず悼の意を表する次第である。

本紙の購読について

本会々員以外の方で、本紙の購読を希望される方は左記料金を添えて直接発行所宛に申込みください

購読料　一カ年　二〇円
送料　同　五〇円
合計　同　金一七〇円

会員倍加運動の徹底、研究会の常設などを協議決定した。

即ちさる九月十日杉並区荻窪中同志会君若氏宅に集会を持ち本部通達の文通一二二号を会員に伝達したのち❶友愛結成大会会員倍加運動が最低目標に到達したのちに行う❷地域団体等に対する働きかけは当地の祭例終了後本部員達の機会に行う❸友愛の本質の理解徹底をはかるためその理論研究会を月二回行なう。前回の「日田と人生」は難解に過ぎたため「思想は世界を結ぶ」（上）を回覧の後、読書会を持つ。

遊廓と人身売買

明暗三題

遊廓縁じて學生寮

本会には天会決定にもとづく売春禁止法制定運に関する調査特別委員会があり、国会に対する売春禁止法制定に関連しその調査検討を行っているが、ここに三百年の伝統をほこる松戸遊廓が学生寮として転換したという話がある。これはSIF中川記者が伝えて来たもので夏休みに入る頃から聊育英センターの大看板を掲げているという。その言講談や芝居でおなじみの深い半玉、遊酒や千葉周作を交換したといわれる出緒？ある遊廓の一八〇度転換物語りである。

その名も柳仙育英センター

上野駅から国電常磐線で約四十分千葉県に入ったところに松戸市という田舎都市がある。震災直前の頃の時期に松戸時代があったとは、文学愛好家なら知っている。戦前、陸上長距離選手が出て、戦後は大会の出ることで有名な鶴輪ランニングクラブ。今やブクブクと一方の大東京のアーパト化しつつある。すっかり様変わりの東京都市松戸に、こうした繁栄が少いのであろう。大きな工場では固定資産税だけでも相当なものだ。近ごの自衛隊も戦前大日本帝国陸軍とは違うであろうことは等々を思いやらずとこの八〇度転向の原因は経営難なのであろうか。それにしても、多くの当主たちがよく思い切ったものである。学生の一人に待遇の点を聞いてみる。

食事は良く、風呂も毎日2湯足

してもらったが、話に聞いた通り一軒平均三千余部屋にもかかわらず転向直前には、平均五、六人の従業婦しかいなかったという。東京のアーパート化しつつある大東京の衛星都市松戸には、こうした繁盛が少いのであろう。大きな工場では固定資産税だけでも相当なものだ。近ごの自衛隊も戦前大日本帝国陸軍とは違うであろうことは等々を思いやらずとこの八〇度転向の原因は経営難なのであろうか。それにしても、多くの当主たちがよく思い切ったものである。学生の一人に待遇の点を聞いてみる。

食事は良く、風呂も毎日2湯足

している。料金月五千円は大学の寮に比べてむろん高いが、まあこんなところでしょう。ただ時たま未転向の数軒に接客をさせているうるさいこともある。しかし東京には四十分足らずで至外静かなところです。

子孫に伝える商売にあらず

関係者の話はこうだ。この柳仙育英センター食堂である栗学教授Y博士はこのものこの発端を次のように語っている。

自分はかねてから学生寮の不足

いには前述ある身をもって学業を放棄し、学問から離れて行かなければならぬ現状に全く悲しむべきことである。

われわれは、一日も早く強力な社会保障制度のもと、たんに学生のみでなくすべての人々に適切なる生活の保障と完全なる医療の給付を強く望むものであるが、しかし、日本経済の現状からしてこのような社会保障制度が実現されるであろうか、と考える時、われわれは、そこに一抹のさびしさを感じるとともに、現下の政府にあっては、殆どそれが、実現不可能であることを認めざるを得ない。そこでせめて学園に学ぶ友を病から防ぎ、かつ一旦病に犯された時は、直ちにこれを治療し得る何等かの手段を講ずることは、現下、学生の最大の急務であるとわれわれは、一日も早くあたたかい友愛の精神を基調とした学生の相互扶助による学生健康保険制度の確立を望む。これに対するあらゆる調査、研究を行い、学生健康保険制度の早期実現に努力せんとするものである。

多方面に亘る調査

今迄、同委員会がどんな調査、研究をして来たかをここに紹介する。

1、保険所、各大学診療所、一般開業医に対する学生患者の利用概数と病種並びにその概算費用

2、学生の国民健康保険利用状況

3、健康診断の受診状況

4、学生の結核罹病者数

5、各地サナトリウムの現況視察

6、一般学生、アルバイト学生の調査とその声

7、国民健康保険制度、各会社の健康保険組合、各大学健康保険組合制度の検討

等、非常に多方面に亘る。現在、集計中であるが、これが出まってから、それにもとづいて学健保制度樹立促進のための意見書の作成にかかる予定である。

学生の世論喚起を

同委員会には、意見書の作成が終り次第、この目的達成のために、この具体的運動として、坂根委員は、学生一般学生の世論を喚起することが第一であるとし、その啓蒙運動を展開するとともに、この運動を強力に推進するため、関係諸団体および関係当局との連携をはかり、また一方、作成した意見書を衆参両院、各政党等に配布し一日も早く学生健康保険制度が実現するよう努力することになっている。左記同委員会では学健保制度に一応賛同輔加入を目標としている。

學生の六割が欲す

学生健康保険制度について学生自身如何に関心を持っているかをここに紹介しよう。これは本年一月の文部省大学学術局学生課の調査であるが、これによると（調査数一千八百二十一名）

学生健康保険を必要とする

もの	六三・六%
不必要とするもの	三六・四%

これによると、学生共に学生間の世論を喚起する必要を感じて、学生健保を必要とするものの過半数五五・五%は、学生の負担出来ない一五・五%となっているが、必要とするものの利用出来る保険がない五五・一%、利用出来る保険が不便三二・五%、その他　一六・五%

となっている。必要とする会の精神は、学生の保険料負担能力の限界に非常に低いのであるが、その意味からしても利用する保険を持っていない学生の場合、必要としないという学生でも、病気の心配がない自分でなんとかする、保険料を負担出来ない等の学生九・二%は保険をもっていない訳ではあるが、学生の六四・七%は、病気の治療に家計を負担していることになる。

さらに必要とする学生設置案別にみると（必要とするものを一〇〇とする時）

国公立	私立	二八・一%
短大	五二・九%	
	九・〇%	

となり、国公立の学生よりも、私立の学生の方が一四・八%も多いことは注目される。

なお、同委員会の精神は、学生の保険料負担能力の限界に非常に低いのであるが、どうしても大きな組織と適切な国庫の補助が必要である。そのためには、もち論他の健保との連携を図り、学生健康保険制度の確立運動を強力に推進する。

學生に健康保険を

学健保特別委の基本方針

学生健康保険の問題は、従来、学生団体や有識者の間でもしばしば取り上げられて来たが、ほゞ大なる予算と、綿密なる企画を必要とするため実現のはびこびとならなかった。

しかるに、最近の経済状態は、政府のデフレ政策を反映して、大部分の学生は、たんに父兄の送金だけ、学業を続けることは非常に困難なばかりでなく、働きながら学ばねばならぬ程、正常な学生生活を送ることさえ殆ど不可能な状態である。

斯様状態から、働く学生は、その生活の貧困から彼らの本分である学業をも放棄しかねない状態であり、また、その肉体は、日夜の過労から次第に病に犯され、ついに倒れるに至る者も多くなってきている。

学生健康保険制度樹立促進特別委員会は、昨年十月一日第八回の委員会を開催、十月下旬までにその結論を出し各界にこの制度樹立のため呼びかけを行うことになった。その中間報告をここに紹介しよう。

学生に健康保険を

本会は、学生健康保険制度の必要なことは、われわれの会でも、五月の全国大会での問題を取り上げ、同制度樹立促進のため学生健康保険制度委員会が設置された。同委員会は設立以来すでに五カ月、十月一日第八回の委員会を開催、十月下旬までにその結論を出し各界にこの制度樹立のため呼びかけを行うことになった。その中間報告をここに紹介しよう。

学生に健康保険を

学健保特別委の基本方針

学生健康保険の問題は、従来、学生団体や有識者の間でもしばしば取り上げられて来たが、ほゞ大なる予算と、綿密なる企画を必要とするため実現のはびこびとならなかった。

しかるに、最近の経済状態は、政府のデフレ政策を反映して、大部分の学生は、たんに父兄の送金だけ、学業を続けることは非常に困難なばかりでなく、働きながら学ばねばならぬ程、正常な学生生活を送ることさえ殆ど不可能な状態である。

斯様状態から、働く学生は、その生活の貧困から彼らの本分である学業をも放棄しかねない状態であり、また、その肉体は、日夜の過労から次第に病に犯され、ついに倒れるに至る者も多くなってきている。

学生健康保険制度樹立促進特別委員会は、昨年十月一日第八回の委員会を開催、十月下旬までにその結論を出し各界にこの制度樹立のため呼びかけを行うことになった。その中間報告をここに紹介しよう。

学生に健康保険を

本会は、学生健康保険制度の必要なことは、われわれの会でも、五月の全国大会での問題を取り上げ、同制度樹立促進のため学生健康保険制度委員会が設置された。同委員会は設立以来すでに五カ月、十月一日第八回の委員会を開催、十月下旬までにその結論を出し各界にこの制度樹立のため呼びかけを行うことになった。その中間報告をここに紹介しよう。

学生に健康保険を

学健保特別委の基本方針

学生健康保険の問題は、従来、学生団体や有識者の間でもしばしば取り上げられて来たが、ほゞ大なる予算と、綿密なる企画を必要とするため実現のはびこびとならなかった。

しかるに、最近の経済状態は、政府のデフレ政策を反映して、大部分の学生は、たんに父兄の送金だけ、学業を続けることは非常に困難なばかりでなく、働きながら学ばねばならぬ程、正常な学生生活を送ることさえ殆ど不可能な状態である。

斯様状態から、働く学生は、その生活の貧困から彼らの本分である学業をも放棄しかねない状態であり、また、その肉体は、日夜の過労から次第に病に犯され、ついに倒れるに至る者も多くなってきている。

学生健康保険制度樹立促進特別委員会は、昨年十月一日第八回の委員会を開催、十月下旬までにその結論を出し各界にこの制度樹立のため呼びかけを行うことになった。その中間報告をここに紹介しよう。

学生に健康保険を

本会は、学生健康保険制度の必要なことは、われわれの会でも、五月の全国大会での問題を取り上げ、同制度樹立促進のため学生健康保険制度委員会が設置された。同委員会は設立以来すでに五カ月、十月一日第八回の委員会を開催、十月下旬までにその結論を出し各界にこの制度樹立のため呼びかけを行うことになった。その中間報告をここに紹介しよう。

学生に健康保険を

学健保特別委の基本方針

学生健康保険の問題は、従来、学生団体や有識者の間でもしばしば取り上げられて来たが、ほゞ大なる予算と、綿密なる企画を必要とするため実現のはびこびとならなかった。

しかるに、最近の経済状態は、政府のデフレ政策を反映して、大部分の学生は、たんに父兄の送金だけ、学業を続けることは非常に困難なばかりでなく、働きながら学ばねばならぬ程、正常な学生生活を送ることさえ殆ど不可能な状態である。

斯様状態から、働く学生は、その生活の貧困から彼らの本分である学業をも放棄しかねない状態であり、また、その肉体は、日夜の過労から次第に病に犯され、ついに倒れるに至る者も多くなってきている。

学生健康保険制度樹立促進特別委員会は、昨年十月一日第八回の委員会を開催、十月下旬までにその結論を出し各界にこの制度樹立のため呼びかけを行うことになった。その中間報告をここに紹介しよう。

学生に健康保険を

本会は、学生健康保険制度の必要なことは、われわれの会でも、五月の全国大会での問題を取り上げ、同制度樹立促進のため学生健康保険制度委員会が設置された。同委員会は設立以来すでに五カ月、十月一日第八回の委員会を開催、十月下旬までにその結論を出し各界にこの制度樹立のため呼びかけを行うことになった。その中間報告をここに紹介しよう。

娘を売り飛ばしたテキヤ

東京葛飾の本田署の調査によると前記疑問で逮捕された厚紙色三名は、自称関東加ケ崎一家甲州屋廉岡分家久蔵部という物々しい肩書をもつテキヤで墨田区堀切町界わいのいわゆるカナ社会で、ユスリタカリを常習にして住民からは暴力団として恐れられていたものである。事件は、原家本年三月ごろ墨田区吾妻橋町のSさん（四）の母親から『生活に困るから娘の就職口を世話してくれ』と頼まれたのを幸いに一味と談り『料理屋の住み込み女中の口がある』とS子さんを正妻に直し、涙の底に会流して調査を進めている。なお、東京都本田区のテキヤが児童福祉法違反容疑で逮捕された記事がのっていた。これは八身売買以来の出来ごとであるが、大正七年頃の不況時代から次第に営業不振となり、バクチに手を出すなどして遂に前科一犯をも持つようになった。

当時妻であった親切の妻に、鳥声を鉛酒屋を営ませていたが、これが非常に成功した。その後被疑者は浅草に『旅館を開業し、中華料理店や料理屋を経営したが、何れもうまく行かなかった。戦後葛飾区内に自ら特飲店を開くとともに、妻を正妻に直し、涙の底に会流して調査を進めている。

娘売り身代金着服

さる九月七日の某紙に『街のダニテキヤ一味捕る』の見出しで、東京都本田区のテキヤが児童福祉法違反容疑で逮捕された記事がのっていた。これは八身売買以来の出来ごとであるが、大正七年頃の不況時代から次第に営業不振となり、バクチに手を出すなどして遂に前科一犯をも持つようになった。

当時妻であった親切の妻に、鳥声を鉛酒屋を営ませていたが、これが非常に成功した。その後被疑者は浅草に『旅館を開業し、中華料理店や料理屋を経営したが、何れもうまく行かなかった。戦後葛飾区内に自ら特飲店を開くとともに、妻

息子は中学の教師

ところでこの遊廓の出所有者の一人である兼氏はこう語っている。

自分の息子も今年大学を出て某中学教師になったし、隣の息子も二、三年前大学を卒業し医者になっている。ともにこんな親の商売に嫌なんだ。自分たちも、かねがねこういう商売をやめたいと思っていた矢さき、学生寮にしては、とう話を聞いたので渡りに舟と、転向を決意した。

▼従業員たちは▲▼何処へ？▲

こうして三百年の伝統をほこるという松戸遊廓も、その大部分が学生寮として転向した。このことについて本会売春禁止法制定促進調査特別委では、次のように語っている。

遊廓が学生寮に転向したとは一寸珍しい話です。ただ、どうなっているんですかそこに働いていた従業婦たちは？店が廃業したから彼女たちも従来の職を辞めたい、とは言えられませんが……。その点どのルポルタージュ、彼然ふれていないので、これは私たちの想像ですが、彼女たちのいうクラガ、をしたんじゃないかなあ……。結局、店主側には一八〇度転換したが彼女たちに転換を言なかった、むしろ住みなれたところを離れてかえって借金が増えた、というんじゃやあないでしょうか……。従業婦たちが何処へいったかということによって、学寮者に転向したことも半減されるのではないでしょうか。

ここでは手放しの賛成意見は得られなかった。

調査委談

本会売春禁止法制定促進調査特別委では、次のように語っている。

こうして三百年の伝統をほこるという松戸遊廓も、そこの従業員たちは、娘売りを強いられ、娘売り飛ばし、酒でうまい目をみるなどの実例であるが、これによると人身売買以来の出来ごとであるが、これによると人身売買以来の出来ごとであるが、これによると人身売買以来の出来ごとであ

欠けていた迫力
感じられた演出の距離
＝民藝『闇の力』をみて＝

高山　朔

苦悩に満ちている現代の社会と押しつめられたぎりぎりの現実の生活を描き出す創作劇の要求に、演劇に関係する人々にも共通した問題であろう。しかし、演劇の深い追求のためと古典ともいえる西欧劇術座の沢田正二郎、松井須磨子、大正十年に小山内薫演出で守田勘弥一座が、十年に同じく小山内演出で薄田研二、岸輝子が筑地小劇で公演したという記録がある。この戯曲にはレルストイの思想が大きな支柱となっており、帝政ロシアの封建的な、農村の生活苦と金銭への執着から、次々に罪をおかしてゆく屋民の姿を捕えた、その過程の人間の苦悩を描いている。生活苦から来る現代社会の犯罪や売春などとつながりが、この演劇から汲みとられなければ大きな意味がない。物語は秋の収穫や冬の準備に忙しい農家の主人ヨートル（伊達信）に病身なので、若い妻のアニーシヤ（細川ちかこ）下男のニキータ（清水将夫）にあり飽きるが二人はただなるぬ関係におちている。ニキータは以前マリーナ（福島寿美子）という孤児にも関係があり、ニキータの父親アキーム（大町文夫）は神を恐れて生きている盲人で、罪の償いのためにニキータに結婚をすすめる。

アニーシヤは終るが、貧欲なニキータの母親マトリョーナ（水林谷栄）は二人の間柄を知って、欲得の上毒殺させる。下男から主人となり、財産を持つたニキータはヨートルの先妻の子ナクリーナ（奈良岡朋子）に心を移し二人してアニーシヤをいじめる。

アニーシヤはアクリーナを嫉にやろうとするがニキータの子を宿しているので、マトリョーナとはかり赤児を殺し、ニキータにバスへ埋めさせる。ニキータは赤児の骨の折れた音が耳から離れず罪の重荷と、心の動揺の為に苦しい日々を過ち、遂にアクリーナの結婚の日、自殺をほかるがミトリッチ（宮田信介）にとめられ、人間を救める必要はないといわれて感動し祝いの席で一切をざん悔し、やっと罪と苦しみから解放され緑につく、

土方与志演出は周到綿密で、舞台のすみずみまでゆきわたり、苦しみ悩みながらも罪を犯さずにはいられない人間の弱さをにじみ出している。しかしそのあまりに全体を通しての迫力に欠けるように感じられた。

俳優陣マトリョーナになった北林谷栄が断然光っていた。憎々しさより老婆の執念を、さも割切っての演技はひきつけられる。細川ちかこも気迫でアニシヤをやってのけた。清水将夫は温みがあり、とぼけた感じの善人ヤキームの大町文夫、アクリーナの奈良岡朋子、アニュトカの水越子などが一生懸命舞台をふんばっていた。がっしりした構成の装置は照明の效果と相まって、季節感が表現されていた。

演出、演技、舞台效果など、可なりの成果をあげながらこの"闇の力"の感動は舞台を遠ざかるにつれて薄れてしまった。したがって強い"光明の力"にまで達しなかったのは果して何であろうか。

ニキータの苦悩と苦白に感動しうる罪を ざん悔するのみでは、解放され救われないことになるのではなかろうか。

（第四幕清水将夫の二キータ）

論壇
天災論と人災論

水野　武夫

天災という言葉が左伝にもあるところから考えれば、相当昔から人間は天災になやませられていたわけだが、左伝には『天災流行し災となる』とあり、これは災害という言葉は見あたらず、天利とか神のこらしめという考え方が災害に対して支配的であった。新大陸アメリカでは天災を人間の敵として考え、これに対して挑戦している。ここでは天災がすべて人災となるまい、これに対する合理的な科学的な防禦を第一義的にしている。

この国ではどうであろうか。前述でもふれた如く、常に『サキモスギレバ禍サワリ忘』れる方式であり『ノドモトスギレバ熱サワリ忘』れる方式である。ここで災害というのは天別り、政治にどうした要求をするのは、われわれの権利である。そしてこの二つも人災というべきであろう。それはこの国の政治家にも政治そのものに対する認識度に逆比例してゆくなってゆくであろう。

この国の人災という言葉は、事故を天災と考えているからだ。この国では事故はすべて天災としてかたづけられる。

人事をつくして天命を待つ、という言葉がある。この国人災害に対する考え方の中には、人事をつくさないで天命を待っているのであろうか。

洞爺丸事件を期に台風予知の定点観測、連絡船としての貨客分離等々については専門家にまかせるとしても、天災論と人災論についてはわれわれがもっと関心をもつてよいのではないか。（筆者は本会会員＝投稿）

災害、交通事故が人災であると一般に認識されている後二者が人災であることには異論はないが、前二者といえるもそれが避けられないものだとしたら、その被害を最少限にくいとめることに最大の努力を払うべきは当然である。そしてこれを解決するのは政治の力であるが、この国の政治家はこれを解決するべく人的な科学的な防禦を第一義的にしたから災害が起ると、天災論人災論が盛んになる。そして何時も結果論か語られない。そのことは災害に対して人々が地シンカミ等がかつて、事故の関係が考えられない、といった責任感という言葉を処かえ忘れて来たような弁明しかできない。何故だろうか。

桜木町事件、日暮里駅事件、洞爺丸事件などそれぞれ全くケースが違っているかもしれないが、その都度当局者側でいわれることは予算がなかつた、事故の関係が考えられない、といった責任感という言葉を処かえ忘れて来たような弁明しかできない。何故だろうか。

災害を独のもとしてきている。だから合理的科学な考え方見方が災害的に対してできないのではなかろうか。寺田寅彦先生は『天災は忘れたころに来る』という味あうべき言葉を残されているが、この言葉の持つ深さは三十年を経た今日でも、この国では理解されなかつたということになるのであろうか。

友愛講座（2）
かわりやすい友愛の解説

第二講　友愛社会はレディとジエントルマンによつて構成される

中央教育指導部

この『友愛社会はレディとジエントルマンによつて構成される』という標題をお読みになつて皆さんはいろいろな印象を持たれることと思います。いわゆる『レディ』とは何か『ジエントルマン』とは何かと考えられる方があるかもしれません。理想的な『レディ』とか『ジエントルマン』を想像されて友愛社会は、この現実の世の中では夢のような社会だとはいれる方があるかもしれません。そうです、友愛社会とは、そのような意味からは人間の社会としては、理想的な社会であります。なぜなら現在の私達から見れば理想的な『レディ』と『ジエントルマン』によつてつくられている社会とは、完全無欠の神様のような人によつてつくられている社会以外想像することが出来ません。然しクーデンホフ・カレルギは『自由と人生』の中で、この如き理想について次のようについています。即ちそれは『聖僧の知識、道徳的優秀性を、天才の知覚力的卓越性を要求しない。いやしくも普通の能力と才識とを具備した人なら誰、全然人間的である離れたこの理想に到達することが出来る』すなわち、カレルギは、普通の能力と才識を持つた人なら誰でも紳士になることが出来るといつているのであります。だがこの場合カレルギの説く紳士というものは中世のヨーロッパに存在した武士道というものの中から、彼の説く紳士道というものを考えていることに注意しなくてはなりません。彼は、英国の紳士淑女を具体的に提出し、その持つ『優雅』『敬虔』『清潔』『堅忍』『真摯』『愛情』『清潔』等を特徴として説明しています。だが紳士に男子と淑女の区別はありません。

それは、はじめに述べたような『レディ』と『ジエントルマン』の理想から出発しています。そして『この紳士（及び淑女）という理想の将来が、政治の将来にとつて決定的なのだ。この理想が一般に行亘るに以上は、どの政治家も勝手に政策を被果したり、あるいわ、最初から実行する意志のないような約束を、選挙民にしたりするようなことを、ほとんどなくなるであろう。この理想が確立した時こそ、民主政治が初めてその飛躍のゆるぎなき基礎の上に据えられる時なのだ。このような時が来た際に、選挙民は、初めてその政治の責任を託し、政治家はその子の責任を依頼し得るような立端正な人物と即ち紳士にその政党と国家との指導を信託することが出来るーというのであります。

この内容からは理想的なにおいの濃いものとお感じになる方が多いでしょう。けれども、カレルギ伯爵は、民主政治における国民の役割を正しくさし示しています。簡単には私達が現在なすべきところのものは何か、それには紳士と淑女の持つものに少しづつ近づくことであります。そして同時に、議会制度を通して、この特質を持つ人々を、政治家として選ぶことであります。一方では個人としての行動の基準を、他方では社会の総計されたものとしての社会における個人の役割を考えることであります。

この次章の中で、私達の行動の、レディ理想的なものとしてはなく、現実的なものとして、そこに何ものかを感じになつた方は、この彼の説く意味がお分りになつた方だといえでしょう。

友愛社会を、このような意味において、一方では極めて抽象的な理想の社会として理解し、同時に他方で現実的なものとして理解することは、現在の友愛運動の基本的考え方であります。友愛社会は目前に迫ると同時に、また遠いところにあります。この目前の友愛社会が綜合的立体形で一歩一歩前進する姿、ここに現在の運動の具体的な展開が見られるわけであります。

この場合、前号で提出しました『よりよい生活のために、社会の人々の心』が先きか『制度』が先きか」という問題は、ここで申し上げたような意味では一応解決されるということが出来ます。

この本は一九三八年に出版されたものですけれども、私達の文章を読みかえしてみて日本の今の政治のあるべき、そのまま書いているように思われるのであります。このカレルギの述べているように、皆さんの現在の政治態に対して、思い当つていていたことがたくさん沢山あるのことと思います。このままでは日本はどうなるか分りないと心配する方もあるでしょう。どうしたらいいと考えあぐむ方もあるでしょう。けれどもこの場合、極論に走つたならばどうなるか、国を変えるの余りとの過激な行動か、どのような結果をもたらしたかは、日本の過去の歴史が生々しくその事実をうつし出してくれています。二・二六、五・一五を始めとして血なまぐさい暗殺事件、テロの歴史は、この具体的実例であります。今日迄、かつての右翼が進出しつつあり、現在の政治の腐敗は、そのうつつけの政治の基礎であります。

私達は法治国に住み、法によつての安全を守られています。この議会政治のトリデだけは決して冒されてはなりません。生命はいらないといわれる方や、そんなことでは国のためにならないの方といわれる方もあるかもしれません。然しこの道をふみ外したら、その背後にはもつと強いる政治のやり方ー独裁政治ーがかまえていることを忘れてはなりません。それでは、どうするか？　私達ここで議会政治のあり方をつくり上げて、ただガレルギが私達に実行可能な方法として説いているところのものを、この項の最後として引用したいと思います。

この『友愛社会はレディとジエントルマンによつて構成される』という標題をお読みになつて皆さんはいろいろな印象を持たれることと思います。いわゆる『レディ』とは何か『ジエントルマン』とは何かと考えられる方があるかもしれません。理想的な『レディ』とか『ジエントルマン』を想像されて友愛社会は、この現実の世の中では夢のような社会だとはいれる方があるかもしれません。そうです、友愛社会とは、そのような意味からは人間の社会としては、理想的な社会であります。なぜなら現在の私達から見れば理想的な『レディ』と『ジエントルマン』によつてつくられている社会とは、完全無欠の神様のような人によつてつくられている社会以外想像することが出来ません。然しクーデンホフ・カレルギは『自由と人生』の中で、この如き理想について次のようについています。即ちそれは『聖僧の知識、道徳的優秀性を、天才の知覚力的卓越性を要求しない。いやしくも普通の能力と才識とを具備した人なら誰、全然人間的である離れたこの理想に到達することが出来る』すなわち、カレルギは、普通の能力と才識を持つた人なら誰でも紳士になることが出来るといつているのであります。だがこの場合カレルギの説く紳士というものは中世のヨーロッパに存在した武士道というものの中から、彼の説く紳士道というものを考えていることに注意しなくてはなりません。彼は、英国の紳士淑女を具体的に提出し、その持つ『優雅』『敬虔』『清潔』『堅忍』『真摯』『愛情』『清潔』等を特徴として説明しています。だが紳士に男子と淑女の区別はありません。

それは、はじめに述べたような『レディ』と『ジエントルマン』の理想から出発しています。そして『この紳士（及び淑女）という理想の将来が、政治の将来にとつて決定的なのだ。この理想が一般に行亘るに以上は、どの政治家も勝手に政策を被果したり、あるいわ、最初から実行する意志のないような約束を、選挙民にしたりするようなことを、ほとんどなくなるであろう。この理想が確立した時こそ、民主政治が初めてその飛躍のゆるぎなき基礎の上に据えられる時なのだ。このような時が来た際に、選挙民は、初めてその政治の責任を託し、政治家はその子の責任を依頼し得るような立端正な人物ー即ち紳士にその政党と国家との指導を信託することが出来るーというのであります。

この内容からは理想的なにおいの濃いものとお感じになる方が多いでしょう。けれども、カレルギ伯爵は、民主政治における国民の役割を正しくさし示しています。簡単には私達が現在なすべきところのものは何か、それには紳士と淑女の持つものに少しづつ近づくことであります。そして同時に、議会制度を通して、この特質を持つ人々を、政治家として選ぶことであります。一方では個人としての行動の基準を、他方では社会の総計されたものとしての社会における個人の役割を考えることであります。

この次章の中で、私達の行動の、レディ理想的なものとしてはなく、現実的なものとして、そこに何ものかを感じになつた方は、この彼の説く意味がお分りになつた方だといえでしょう。

友愛社会を、このような意味において、一方では極めて抽象的な理想の社会として理解し、同時に他方で現実的なものとして理解することは、現在の友愛運動の基本的考え方であります。友愛社会は目前に迫ると同時に、また遠いところにあります。この目前の友愛社会が綜合的立体形で一歩一歩前進する姿、ここに現在の運動の具体的な展開が見られるわけであります。

この場合、前号で提出しました『よりよい生活のために、社会の人々の心』が先きか『制度』が先きか」という問題は、ここで申し上げたような意味では一応解決されるということが出来ます。

第二講　終り

フランス通信
欧州連邦は夢か！

SIF白石記者

白石記者（日本学生親善連盟海外版編集員）は十月四日より八日まで、オランダのライデンで開催される国際学生新聞会議に派遣されるが、その途次フランスに立寄りEDC否決後のフランス青年たちの表情をパリから次の如く伝えてきた。

X＝マンデス・フランス内閣下に仏議会が無案のEDC案を否決してEDCの否決は、ドゴール派にとつては、国内外問題に仏は非常に重要な時期に直面しているわけです。EDCの否決は結果的に独左右両翼の協力という形をとつたのですが、むろんその否決の理由は各々全く異るわけです。敗の上では百余票の差だつたと思いますがEDCの否決は、本国民から支持されているのではないでしょうか。ただし、これは全く想像です。共産党の否決理由はいうまでもあるまい。ただ、仏は米英の直接参加しないEDCは独軍の再独化が必至で前大戦で独仏議会が無案のEDC案を否決して戦つた仏としては（議会では特に）ドゴール派にとつては、もし独軍の再独化が必要

奥田、北川常任幹事西下
関西各地懇談会出席

本部常任幹事奥田富民（組織部長）同北川登（宣伝部長）の両君は来る十月十五日午後十一時十五分東京駅発伊勢号で西下する。

これは、十六日津市において開催される支部結成準備会に出席をかねて大阪および京都において兵庫、和歌山両県有志参加のもとに開催される大阪、京都両地区における結成準備委員会（第一回）に出席するためである。

なお、同準備委員会には、三重県連青年団長桑名容久夫、同敬和地区連青年団長岡井昭一同氏らの出席が予定されている。

両常任幹事の日程次の通り。

○十六日午前の準備懇談、青団幹部と懇談、午後津レスメーカー工場に出席、夜、同地区支部結成準備委員会（大阪）

○十七日午後一時津農大学で大阪地区とん談会（大阪・和歌山両県有志合同）

○十八日午後一時津農大学で同大会員有志とのとん談

○十九日京都地区とん談会（以上）

なお本部事務局では関西在住一般会員の参加希望者は左記に直接連絡されたいといっている。

京都市下京区不明門通松原下ル軍野誠男、大阪府八尾市久宝寺二七五阿尾部まさ方または大阪府大阪市東成区南二中浜町四ノ二三七古角方土屋省、三重県安濃郡明合村深加九九松田一雄

大きかつた蔭力
春日村（長野）支部の場合

去る八月十五日の長野県東信地区支部連合会結成の模様は前号で報道したが、その際下伯耆のもとの一つ長野県佐久間郡春日村支部結成の模様が同郡から報告されているので次に紹介する。

【春日（長野県）】当地に友愛の芽ばえたことも最初の出会いである。即ち同君の経過発表を引用すると、去る八月十五日の長野県東信地区支部連合会結成の模様は前号で報道したが、その一つ長野県佐久間郡春日村支部結成の模様が同郡から報告されているので次に紹介する。

【春日（長野県）】当地に友愛の芽ばえたことも最初の出会いである。即ち同君の経過発表を引用すると、郡内任幹事小林茂男君による同君はじめ三人の同志が本部組織部長奥田富民任幹事が本年三月全国遊説の途次本牧町山城屋旅館において当地方の青年と会談した際、友愛に共鳴の現で入会申込みをしたという友愛マンである。その同君がまいた種子意外に早く育つて今回の支部結成となったものである。しかしそれは小林（茂）君の努力もさることながら、同君たちの労働過度を抑圧しているのではないか、われわれ農青年の結成を妨げていてもいいのである、と。

デフレのあおりをくらうて、主要会社を始め求人側は一斉に就職の門戸をせばめたりしつつ。

昨年は、その率下伯耆の中小企業に流れ、事業は、学校はみな学に力を入れるが、遊みつばなしの投げやり状態にある。

人口の増加に対して食糧の増加は比例の用もなく、学生の増加に対する需要も同じ様である。本年の如く激減して逆比例をなると卒業年度は皆無である。

昨年はクマイ手があったが、偽り学士様が